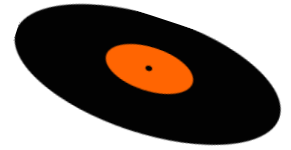


～テイチクの戦前、戦中、戦後のレコードを展示！～

郷土博物館 特別展

「昭和歌謡は杉並から生まれた

テイチク東京吹込所物語」開催中



昭和から平成の時代に、杉並区に存在したテイチクの東京吹込所にまつわる資料をたどりながら、昭和歌謡の魅力を感じることができる特別展が、杉並区立郷土博物館で始まりました。

東京吹込所※は、昭和9年、帝国蓄音器株式会社（現・株式会社テイチクエンタテインメント）が杉並区堀ノ内に開設しました。平成11年の閉鎖まで、「東京ラプソディ」や「東京五輪音頭」など、多くのヒット曲を生み出しました。

※「吹込所」は現在で言うレコーディングスタジオのこと。

今回の特別展は、昭和歌謡史の専門家・^{おさかべよしのり}刑部芳則氏に監修いただき、テイチクに関する資料などを約400点展示しています。

また、テイチクを彩った^{こがまさお}古賀政男、^{みなみはるお}三波春夫などの作曲家や歌手についても紹介。歌手・^{しょうじたろう}東海林太郎の門外不出とされる燕尾服など興味深い資料も展示しており、昭和歌謡の魅力を存分にお伝えしています。





- 開催期間：10月25日(土)～12月7日(日)
- 開催場所：杉並区立郷土博物館本館 特別展示室(杉並区大宮1-20-8)
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日
(祝日・休日の場合は開館、翌平日は休館)
- 観覧料：100円
(中学生以下、障害者手帳等を提示する方および付き添いの方は無料。20名以上の団体は1人80円)

【会期中のイベント】

学芸員による展示解説(申込不要)

11月15日(土)、24日(月・祝)、12月6日(土)いずれも14時～14時30分

※チラシに掲載の11月16日(日)の講演会「昭和戦前・戦中期のテイクレコード」は申し込みを締め切りました。

【報道機関 問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館：03-3317-0841

広報課報道係：03-3312-2111(内線1574)